

令和5年度 家庭・地域と連携したよりよい学校づくりのアンケート調査の報告

厳寒の候、皆様方にはますますご健勝のことと拝察いたします。日頃から学校運営につきましてご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。児童アンケート、保護者アンケート、学校関係者アンケートの集計ができましたので、ご報告いたします。

これらの結果と皆様からお寄せいただいたご意見を真摯に受け止め、これからの学校運営や学級づくり
に生かしてまいりたいと存じます。今後ともよろしく願いいたします。

1 児童アンケートの結果

※数字は% 肯定評価(「とても思う」・「思う」の合計)

	質 問	R3	R4	R5
1	学校に来るのが楽しいですか。	77	89	87
2	授業の内容がよくわかりますか。	91	92	89
3	授業でわからないことがあったとき、先生や友だちに聞くことができますか。	90	92	90
4	授業やグループ活動、学級会などで、自分の考えたことを発言・発表することができますか。	80	77	83
5	授業やグループ活動、学級会などで、友だちの発言・発表をしっかりと聞くことができますか。	97	98	97
6	先生や友だちや地域の人に、元気にあいさつをしていますか。	94	93	95
7	友だちを大切にしていますか。	98	99	98
8	友だちから大切にされていると思いますか。	84	86	91
9	学校のきまりを守っていますか。	97	92	93
10	困ったことがあったときに、先生や友だちに相談できますか。	86	86	88
11	運動会や音楽会ではめあてをもって楽しく取り組むことができましたか。	92	94	92
12	一生懸命そうじに取り組んでいますか。	97	93	94
13	体育の授業や休み時間には、体を動かす活動に自分から取り組んでいますか。	90	83	93
14	休み時間や高丘タイムなどで、ちがう学年の友だちと楽しく遊ぶことができますか。	91	90	90
15	学校以外の場所へ行ったり、地域の方と関わったりしながら、楽しく学習できましたか。	91	93	92

アンケート回答結果から

- ・「質問1」の学校に来ることを楽しみに思っている児童の割合はやや下がっています。「あまり思わない・全く思わない」と回答している児童が6%いることを受け止め、一人ひとりの児童の様子や思いに心を寄せながら、楽しみになることを抱いて登校できる児童を増やしていけるよう努めます。
- ・「質問3」90%の児童が、わからないことがあったときに先生や友だちに聞くことができていると回答しています。また、「質問5」で97%の児童が、友だちの発言・発表をしっかりと聞くことができていると回答しています。それが、「質問2」の授業内容がよくわかっている児童89%に繋がっていると考えます。今後も、「学び合い」の学習に取り組んでいきます。
- ・「質問4」自分の考えたことを発言・発表している児童の割合は、全項目の中では最も低い数値となっていますが、年々数値は上がってきています。ペアやグループでの学び合いを意識した授業づくりをすることで、友だちと対話しながら学べる児童が増えてきていると感じます。
- ・「質問6」の挨拶については、児童会等の活動を通し、昇降口や教室で元気に挨拶をする姿は多く見られます。一方で、他学年の児童や教職員、地域の方への挨拶については個人差が大きいように思います。引き続き、自分から明るい挨拶のできる児童の育成に努めていきます。

- ・「質問7」の友だちを大切にしている児童、「質問8」の友だちから大切にされていると感じている児童の割合の差が小さくなってきています。今後も、学習や生活の中で互いのよさを見つけ、伝え合う活動や場面を大事にすることを通して、一人ひとりが自尊感情を高めていけるように努めます。
- ・「質問9」学校のきまりを守れている児童が多いことがわかります。また、「質問12」の清掃についても多くの児童が一生懸命取り組んでいると感じています。今後も、道徳や児童会の活動等を通して、きまりや清掃がある意味を考え合い、みんなが気持ちよく生活できる学校を自分たちで創っていかうとすることのできる児童の育成に努めていきます。
- ・「質問10」困ったときに先生や友だちに相談することができる児童の割合は高まっていますが、相談できていない児童もいるということをお大事に受け止めます。担任だけでなく、校内の全教職員、スクールカウンセラーとの連携を大事にし、相談しやすい環境づくりに努めます。
- ・「質問11」では、多くの児童がめあてをもって音楽会や運動会に取り組み、振り返りをする中で自身の頑張りを実感することができていると考えます。
- ・「質問13」は、大きく割合が上がっています。コロナ感染症に関わる制約がほぼ解け、体育では友だちと直接的にかかわって学習することができるようになりました。また、「質問14」高丘タイムや体育集会、姉妹学級交流等で、異学年と一緒に遊ぶ時間も多くとれました。そうした中で、休み時間には体育館や校庭で遊ぶ児童が増えています。今後も、体を動かす楽しさを味わうことのできる活動づくりに努めていきます。
- ・「質問15」では、校外での活動を楽しみにしている児童が多いことがわかります。地域探検や社会見学、保育園や福祉施設との交流、地域講師によるリンゴ栽培や人権教育等を行いました。また、地域ボランティアの方に学習活動に参加いただくこともできました。今後も、地域の中で行うことのできる活動を探り、地域(の方)から学ぼうとする姿勢を大事にしていきたいと思ひます。

2 保護者アンケートの結果

※数字は% 肯定評価(「とても思う」・「思う」)

	質 問	R3	R4	R5
1	学校は、子どもたちが楽しく学んだり、活動したりしている場になっていると思いますか。	8 2	9 2	8 9
2	お子さんの話や授業参観などから、学校は学び合いを柱にした授業を進めていると思いますか。	7 9	8 1	8 6
3	学校や家庭、地域において子どもたちは元気にあいさつをしていると思いますか。	6 4	5 5	6 4
4	学校は、仲良く、協力しあえる集団づくりに取り組んでいると思いますか。	8 5	8 8	8 3
5	学校へは、相談したり、考えを伝えたりしやすいと思いますか。	7 0	7 6	6 6
6	音楽会、運動会などの学校行事や教科以外の学習活動で、子どもたちの活躍する姿があり、充実していると思いますか。	8 3	8 6	8 9
7	学校は、子どもたちが健康で安全に生活できる場になるよう取り組んでいると思いますか。	8 0	9 0	9 0
8	学校は、保護者のみなさまと協力して(PTA活動等)、学校づくりを進めていると思いますか。	7 5	8 2	8 3
9	学校は、地域の方(学校・地域ボランティア、JA青年部や農家、高齢者施設、保育園等)と交流したり、連携したり、外部講師の方をお呼びしたりして学校づくりを進めていると思いますか。	7 6	8 8	8 9
10	学校では、一人ひとりの子どもに寄り添った相談や支援体制が進められていると思いますか。	7 7	7 2	6 4
11	「学校だより」「学年だより」「学校フェイスブック」などを通して、学校の教育内容や教育活動がわかりやすく発信されていますか。	9 0	8 2	8 6

アンケート回答結果から

- ・「質問1」は、89%の方が肯定的に受け止めくださっています。児童アンケートの「質問1」と重なるものと捉えます。一人ひとりの児童に目を向け、楽しさを抱いて登校し、楽しく学んだり活動したりできる場となるよう努めていきます。
- ・「質問2」については、割合が上がっています。「学び合い」の考えや取り組みを職員全体でさらに共有し、授業改善に努め、児童が真剣に学ぶ楽しさを感じられるように取り組んでいきます。

- ・「質問3」の挨拶については、昨年度より割合が上がっていますが、保護者の方と児童の捉えの差が大きな項目です。家庭や地域における挨拶については、ご家庭と協力しながらその大切さやよさを日々子どもたちに伝えていく必要があると考えます。学校での挨拶の様子について、学校だよりや学年通信でお伝えしたり、学級懇談会等で話題にしたりして、学校と家庭で共有しながら指導を重ねていきたいと思ひます。
- ・「質問4」の仲良く、協力し合える集団づくりの取り組みについては、昨年度よりも肯定的に捉える割合が下がっています。子どもたちが、日々の生活や学習、行事等を友だちと協力してつくっていくよさを感じ、よりよい人間関係を築いていけるよう取り組んでいきます。
- ・「質問5」「質問10」の相談や支援体制に関する項目は、昨年度よりも大きく割合が下がり、課題を感じています。保護者の方が気軽に学校に相談できる空気づくりを大切に、真摯にお話を聞き、一人ひとりに合った支援について共に考える姿勢や体制づくりに努めます。また、保護者の方のご意見や要望をお聞きする場として、個別懇談会や学級懇談会の時間を大事にしています。
- ・「質問6」は、音楽会や運動会等の行事や参観日には多くの保護者の方々に来校いただき、頑張る子どもたちの姿を見ていただくことができました。子どもたちの願いや思い、練習過程で見せる子どもたちの努力する姿等も、お便りなどを通じて積極的に発信していきます。
- ・「質問7」「質問8」については、今後も子どもたちが安全で健康に生活できるよう、保護者のみなさまにもご協力いただきながら環境を整えたり、保健指導の充実を図ったりしていきます。
- ・「質問9」については、児童アンケート「質問15」に記載したように、今後も、積極的に地域に出かけ、地域の方や外部講師の力をお借りしながら、学校運営を進めていきます。
- ・「質問11」については、学校・学級での取り組みがさらに伝わりやすいように発信していきます。

3 学校関係者（信州型コミュニティスクール（CS）運営委員会）アンケートの結果

※委員6名：数字は% 肯定評価（「とても思う」・「思う」の合計）

	質 問	R3	R4	R5
1	本校では、一人ひとりの子どもを大切にした教育が行われている。	84	100	100
2	授業改善のための授業研究、各種職員研修、児童の実態に合わせた個別の指導の実践などは成果を上げている。	100	100	83
3	本校での健康や安全に関わる指導は、児童の安全で安心な学校生活を保障する上で成果を上げている。	67	83	100
4	本校の児童には、仲良く、助け合い、思いやる心が育ってきている。	100	83	83
5	本校の子どもたちは、日頃から元気に体力作りに取り組んでいる。	84	33	50
6	校舎内外をご覧いただき、清掃活動や環境整備への取り組みは成果を上げている。	100	100	100
7	音楽会や運動会では、子どもたちは、自分の力を十分に発揮していた。	50	66	100
8	本校の子どもたちは、地域の皆様に挨拶をしている。	66	83	67
9	本校の教育活動は、保護者や地域の方々と連携を取りながら進められ、地域に開かれたものになっている。	34	100	83
10	地域の方々や保護者の方が気楽に来校できる機会や、気軽に来校できる雰囲気をつくっている。	67	83	100

アンケート回答結果から

- ・多くの項目で肯定的なご意見をいただきましたが、地域で過ごす子どもたちの姿から、「挨拶」や「体力づくり（外遊び）」について向上を願うご意見がありました。学校・家庭・地域で情報を共有し連携しながら、子どもたちに働きかけていきたいと思ひます。

4 保護者アンケートの記述欄より

<PTA活動に関わって> *PTA理事会に報告済

- ・PTA活動は任意加入のはずなのに、学校はPTA活動は全保護者加入必須かのような発言が多すぎる。
- ・PTA活動は任意のはずなのに、高丘小学校は強制加入ですか？ 加入するか加入しないかのアンケートとかないのでしょうか？

→上記2点について、「任意」というのが前提です。加入するか否かのアンケートをとることも可能ではあります。ただし、加入未加入のアンケートをとるということは、「未加入」もあり得るということになりますので、PTA総会においてPTA全体で承認していただく必要があります。それは、「未加入あり」とした場合は、

- ・未加入の方は、本会役員・学年役員・地区役員選出の対象から除くことになる。
- ・PTA会費が集金されないため、そのご家庭（児童）については、親子レクやスキー教室等の補助、地区懇談会や地区行事の参加費用等々がPTA会費から支払われないため、未加入のご家庭には実費で集金をするようになる。
- ・加入・未加入で分けて会計事務を行う必要が、本会・学年・地区それぞれで生まれ、その会計事務が大変煩雑になることが予想される。

等の状況が生まれるためです。以上のことをご理解いただき、ご意見要望がありましたら、今後のPTA組織・活動全体に関わる内容ですので4月のPTA総会でご意見をいただきたいと思っております。

- ・PTA活動を、根本的に変えていく時代だと思っております。PTAという枠がなくとも高丘小学校に協力したい保護者、地域の大人は、かなりいると思っております。

→日頃より、学校運営に温かな保護者・地域であることを感じる事が多くあります。「高丘小学校に協力したい」という思い、本当にありがとうございます。PTA活動・組織をどのように変えていけるのか、変えるとしたらどのような段階を踏む必要があるのか等、前段のご意見とつながる点もあろうかと思っておりますので、今後PTA全体で考えていけたらと思っております。

- ・PTA役員の負担が多い。運動会でやった中野小唄はPTAの意見を聞いて廃止になったのに何故今年からまたやる事になったのでしょうか？ 運動会の時間も短縮している中、玉入れや他の競技をなくしてまでやる必要はあるのか。

→・役員を務めていただく皆様には多大なご協力いただき、感謝いたします。役員の負担軽減ということで、ここ数年間で、委員会（やその仕事内容）の統合、理事会や部会の回数の削減等を進めてきています。役員を経験する中でさらに統合・削減できそうなことがありましたら、部会や理事会等でご意見いただき、負担軽減を図りながら次年度の活動に反映していけるようにしたいと思っております。

- ・運動会の「中野小唄」については、中野小唄を入れたことで他の競技をなくしたということはありません。連学年種目としてどんな種目を行うかは、子どもたちが学ぶ必要のある運動内容を検討し、その年々で決定しています。「地域で受け継がれてきたものを大事にしたい」「保護者や地域の皆様にも参加していただき、一緒に取り組める種目を入れたい」という考えのもとで、今年度は復活させていただきました。

- ・運動会前のPTA作業が、毎年集合時間が早いので、せめて5時からとかになると助かります。

→夕方の時間帯ですので、「早くしてほしい」「遅くしてほしい」とそれぞれ希望が出されるところです。保健厚生部より通知される時間で、可能な範囲でご協力いただけるとありがたいです。

<学校の取り組みに関わって>

- ・もっと地域の方と交流出来るとよい。
 - 現在、地域探検や社会見学、保育園や福祉施設との交流、地域講師によるリンゴ栽培やサツマイモの苗植え、人権教育等を行っています。また、地域ボランティアの方に学習活動に参加いただいています。今後も、地域の中で行うことのできる活動を探り、地域の方から学んでいきたいと思っております。
- ・運動会は例年時間を短縮したりして、以前よりも演目が少なく感じます。組体操や騎馬戦、棒倒しなど

危険を少しでも伴う競技の中止などをするのではなく、どうすれば怪我をしないのかを学べる機会として取り入れて欲しいです。危ないからやらせないでは危険を回避する機会も減ってより怪我しやすい子供になるのではと誤ってしまいます。運動会を通して、競い合うこと、協力しあうことを学んで欲しいです。

→体育の学習内容と子どもたちの安全指導、練習から当日までを通した行事の意味を検討しながら競技種目や時間を決定してきています。今後も、運動会や競技種目を通して子どもたちが何を学ぶのかをしっかりと考え、仲間と協力することや体を動かすことを楽しめる子どもたちを育てていきたいと考えます。

・地域、保護者、支援者などの関わりを大切にしている行く為にもアンケートなどの機会を増やし、意見の導入や考えを周知して頂きたい。

→保護者の方と意見を交わす場として学級懇談会や個別懇談会を大切にしていけるとともに、用事で学校に来られた折に気軽に立ち話ができるような教職員の姿勢を心がけ、学校・家庭・地域でつくる高丘小学校を目指していきたいと思えます。

・現在、紙で配布しているお便り等をテトルで受け取ることができるようなになれば良いと思えます。

→紙資源を大事にすること、保護者の皆様に見ていただきやすい方法を考え、紙から「tetoru」に切り替えていく通知を増やしていきたいと考えています。

・学校はこのままで良いのか…先日の谷口さんの講演を聞いて疑問点が出てきました。今の給食も不満な訳では無くありがたいのですが、地元産食材の使用や質の向上も希望します。

→農産物の豊富な中野市のよさを生かし、給食には多くの地元食材が使われたり、季節感なども大事にして献立が組まれていることを感じます。食べ物に感謝して大事に食べることでできる子どもを、家庭とともに育てていきたいと思えます。

＜学級経営・教職員のあり方に関わって＞

→「いつも楽しく通い、学ぶことができていることが嬉しい」「いつも丁寧な対応をしてくださっている」といったご意見とともに、「学年だよりがわかりにくい」「先生の言葉や、職務に対する姿勢を改善してほしい」といったご指摘や要望もありました。

子どもたちが楽しく安心して学べる学校・学級となるよう、教職員のあり方としてよい点は引き続き大事にしていきます。一方で、改善しなければならない言動内容もありました。該当の職員につきましては、学校長・教頭より個別に指導をいたしました。教職員個人として真剣に反省すべきはもちろんです。改善に向けて全教職員で相互に目を向け、多くの目で一人ひとりの子どもや学級の指導・支援にあたっていくことをより一層大事にしていきます。

＜学校教育全般への思い（願い）に関わって＞

・日々お忙しい中ありがとうございます。子どもたちの個性の凸凹の凸を尊重して、伸ばしてあげて欲しいなと思っております。また、集団生活の中で、自分を大切にする気持ち、相手を尊重する気持ち、その年齢でしか学べない事等、楽しく小学校生活で学び、今後の人生の土台作りになれば嬉しいなと思っております。今後もよろしく願いいたします。

・現場で働く先生方には本当に感謝しております。教員不足もそうですが、仕事量の多さも加え子ども達に寄り添う時間も無い中、よく見てくださっていると日々感謝です。大変なお仕事と思いますが、20年後の日本を育てているのですよね 私達、保護者もそうですが学校と一緒に子ども達を育てていける環境を整えていけたらと思っております。それにしても、教頭先生が頑張ってFacebook 発信しているのに、見ている方少ないのは残念ですね。

・学校現場で働く先生方に感謝しております。日本の教育に対しては前々から限界が来ているのでは…？と感じる事が多くありますが、高丘小学校に対してこうして欲しいというのではなく、地域、家庭、学校のトライアングルの真ん中に子ども達がいる、そんな子育てが出来れば良いなと思っております。家庭

と地域を担う私としては、どう学校と連携していけるのか考えています。学校の雰囲気は校長先生で大きく変わりますよね。柔軟対応と学びは楽しい！と思える子ども達が増える高丘小学校期待しています。

・いつも子ども達をみてくださりありがとうございます。幼児教育同様に、小学校教育に期待すること、とても多い気がしています。この時期に体験、経験を通して学ぶ事が後の生き方に大きく影響してくると信じているからです。それなのに、今の日本の登校拒否（不登校とは別に）児童の多さに愕然とせざるを得ない状況です。学校に行くことが全てでは無く、多様な学びが選択肢としてある中、学校がどう変化していくのか見ていきたいです。学校で出来ること、家庭で出来ること、地域で出来ることを一緒に考え連携できる体制がもっとあれば…とも思っています。最後に、先生方の仕事に対して心から尊敬と感謝を申し上げます。自身、『教師』という職業の大人から傷つけられたこともありましたが、それを救ってくれたのも『教師』という大人たちでした。大変なお仕事だと思いますが、40年近く経った今もなお記憶に残るのは『教師』を仕事として頑張っておられる皆さんだと思います。

→上記4つのご意見より、学校教育への熱い願いや思いを感じさせていただきました。未来に生きる子どもたちであることを見据え、「個性」「自他を大事にする気持ち」「協力」「楽しむこと」など、小学校段階で経験し学び、身につけることを家庭と共有しながら丁寧に学校づくりを進めていきます。学校運営に協力したいというお気持ちや教職員への応援のお言葉を力に変え、短期的・長期的視野をもって子どもに寄り添い、楽しい学級づくり・学校づくりに取り組んでいきます。

5 全体を通して

アンケートは、児童および保護者、信州型CS運営委員、職員を対象に実施しました。回答項目は5段階評価（「とても思う」「思う」「どちらとも言えない」「あまり思わない」「全く思わない」とするとともに、自由記述欄を設け、ご意見ご要望をいただきました。ご協力ありがとうございました。

上記3つのアンケート結果から、日々の学校での取り組みが一定の成果を上げてきていることがわかりました。一方で、検討し改善していく必要のある内容や状況があることもわかりました。貴重なご意見として受け止め、肯定的な部分はさらに伸ばし、課題となることは職員全体で共有し改善を図りながら、日々の学校運営に生かしてまいります。今後も、学校・家庭・地域で子どもたちを育てる高丘小学校を目指して努力してまいります。ご意見や要望、お気づきのことがありましたら、いつでも学校にお知らせください。今後ご理解ご協力の程、よろしく願いいたします。